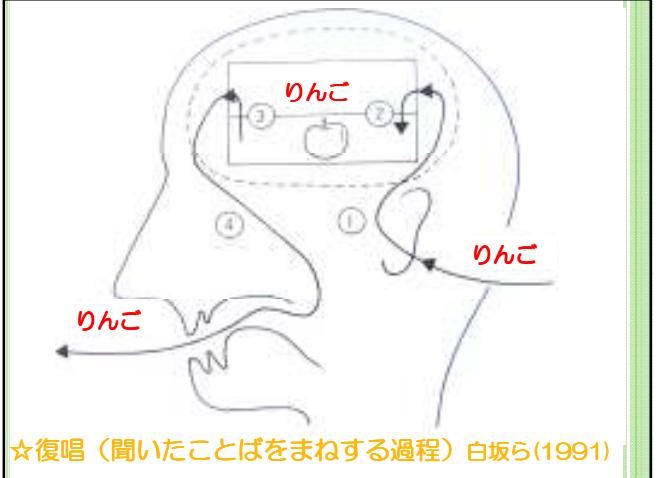


ことばの障害 ～構音障害とは？～

2010.10.22 言語聴覚士 加賀 咲



☆復唱（聞いたことばをまねする過程）白坂ら(1991)

ことばの障害

大きく分けると…

- ① 失語症
ことばがうまく話せない
なかなか出てこない
- ② 構音障害
ろれつが回らない

構音障害とは？

原因

- ①脳血管障害（脳梗塞・脳出血など）
- ②脳外傷
- ③進行性疾患
- ④器質性障害（舌ガンなど）

ろれつがうまく回らない
ことばがはっきりしない

なぜ、話しにくくなるのか？

病気などによって、
顔・唇・舌に麻痺が生じる



唇や舌が思うように動かせなくなる、
動きにくくなる

症状

声の異常

ガラガラ声、鼻にかかった・抜けた声

発音の異常

ことばがはっきりしない
何と言っているかわかりにくい

話し方の異常

力の入った話し方、声が小さくなる
話す速度が遅くなる・速くなる

…などさまざま

具体的には…

唇の力が弱い、しっかり閉じられない



マ行、パ行、バ行などが言いにくくなる

舌が上手く動かない



タ行、カ行、ラ行などが言いにくくなる

※個人差あり

構音障害に伴って…

今までと同じ食事が難しくなることも!!



食べ物を食べるとき

①食べ物をよくかむ

②「ごっくん」と飲み込む



①食べ物をよくかむ

歯、**唇、舌、頬**を使って、
食べ物を口の中で**ひとまとまり**にする



唇・舌が動きにくい
力が弱い、入りにくい



口からこぼれる、
まとめることが難しい



②「ごっくん」と飲み込む

舌、頬でのどの奥に食物を押し出し、
飲み込む



舌が動きにくい、力が弱い
飲み込むときの力が弱い、遅い



のどに食物が残っている感じがする
咳が出る、むせる



言語訓練として

- ◆唇や舌を動かす運動
- ◆唇や舌などの筋力トレーニング
- ◆声をはっきり出す（発声練習）
- ◆言いにくいことばを言う（構音練習）
- ◆咳払い

…など

☆それぞれの方に合わせて訓練を行う



お口の体操

(引用:ドンパンお口の体操より)

お口の体操

唇

- ①大きく開ける - 閉じる



- ②横に引く - 突き出す



お口の体操

舌

- ①出す - 引っ込む



- ②右 - 左



- ③上 - 下



- ④一周り

お口の体操

頬

- ①膨らませる - 引っ込める



- ②交互に膨らませる(右一左)

